

一般的には「引き取る」と
言いますが、親の気持ち

になつてみたら「呼び寄せる」
という言葉のほうがピッタリく
るのではないかと思つているの
ですが、いかがでしょうか。

ご質問についてですが、誰か
一人でも反対しているならば、
呼び寄せるのはやめた方がいい
と思います。同居での遠慮は計
り知れないものですから、反対
者の存在が大きく影響すること
も考えられるからです。

また、せつかく同居したもの
の、関係がうまくいかず親が地
元に帰つてしまつたり、いつも
「帰りたい、帰りたい」と言つ
ているケースもあります。同居
して家族がいると介護保険の使
える範囲が狭まつてしまいます
し、特別養護老人ホームを希望
しても、家族がいるために優先
順位が下がつてしまうこともあ
ります。

逆に、遠距離介護の場合は、
それぞれの生活が保たれるとい
うよさがあります。お互いにた
まに会うのでやさしい気持ちで
いられますし、施設に入る場合
も、言葉、食べ物、お見舞いが
あるなど、地元のメリットは大

遠距離に 住む親を “引き取る” べきか？

きいのです。

とはいえ、離れていると何か
と心配です。遠距離介護を成功

させる鍵は、いいケアマネ
ジャーを探せるかどうか。地元
の知人や友人などからたくさん
情報を集めてください。そして、
忘れてはならないのが、助けて
いただくことになるご近所への
挨拶。そうした人間関係をつ
くっておくことで、親も安心し
て暮らしていけるのです。

以上のようなことを踏まえて、
親の生活、自分たちの生活がど
う変わるのか、いろいろシミュ
レーションしながら検討してみ
るといいでしょう。

わが家の場合

妹と交代での遠距離介護

最後まで地元で暮らすというのが岩手の両
親の方針でした。3年前、母が認知症になり、
家の近くの介護老人保健施設（老健）に入所
そのときから、一人暮らしになった父（当時
89才）の遠距離介護が始まったのです。知人
から紹介してもらったケアマネジャーさんに、
いろいろ相談に乗ってもらえたのは心強かつ
たです。介護申請も要介護1に認定され、週
5日ヘルパーさんに食事作りを頼むこともで
きました。月1回は東京に住む妹と交代で数
日間、身の回りの世話をしに行き、ご近所の
方に様子を聞いたり、お願いをして回つたり
しながらしばらく乗り切りました。やがて、
父も認知症を発症。それからは、2週間交代
で妹と面倒を見に通いました。しかし、暴力
が出始めて手に負えなくなり、病院へ2か月
入院。退院後は、母のいる老健で、91才の現
在も元気に暮らしています。（千葉県 M.M.）

相談するなら

- 地元の地域包括支援センター
- 地元の社会福祉協議会
- 地元の高齢者福祉課・介護保険課
- 地元の民生委員
- NPO法人パオッコ

親子それぞれが、それぞれの暮らし地域で、
安心して笑顔で生活できるような社会づくりを目指している。

高齢者支援・介護サービスの情報発信、
情報交流、専門家によるセミナー、
パオッコサロンの開催（月1回・文京区）など。

<http://www.paokko.org/>

電話 03-5840-9935（留守番電話対応）

FAX 03-5689-0958

無理やり
“呼び寄せる”のがいい
とは限らない。

[アドバイス]

太田差恵子さん

介護・暮らしジャーナリスト。

遠距離介護を応援するNPO法人「パオッコ」理事長。

著書『老親介護のお金』（アスキー新書）他多数。

